

【I】 次の風刺画は、1879年に明治政府が琉球に対して行った政治的措置に関して、日本・中国・琉球の三者の関係を主題に描かれています。この風刺画に関わる下記の問い（問1～問7）に答えなさい。



（『团团珍聞』第109号、团团社、  
1879年5月24日発行）  
国立国会図書館デジタルコレクション

問1 琉球は、中国に朝貢し、冊封を受ける関係を築いていました。こうした中国を中心とする外交体制が東アジア世界では維持されており、華夷秩序と呼ばれます。この華夷秩序に関わる説明として誤っているものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

ア 漢民族を中心とする中国では、自国こそが中華（文明の中心）であり、未開で劣った周辺諸民族はその文明を慕って朝貢してくるものと考えられた。

イ 東夷にあたる日本は遣唐使を送って、唐に学びつつも、独自の律令制をつくり、隼人や蝦夷を蕃夷とみなして小さな華夷秩序をつくろうとした。

ウ 室町時代、足利将軍は貿易をめあてに朝貢・冊封関係を受け入れて、日宋貿易を展開した。

エ 南蛮にあたるベトナムは、中国と朝貢・冊封関係を結んだ。

問2 江戸時代、琉球の王は、徳川将軍が代替わりをすると、その就任祝いの使節を江戸に派遣しました。この使節名を漢字3文字で答えなさい。

問3 江戸幕府は琉球の支配を藩に委ねていました。その藩を、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

ア 対馬藩      イ 薩摩藩      ウ 長州藩      エ 佐賀藩

問4 問1～3でみたように、琉球は中国と日本とに「両属」していました。この風刺画から読み取れる内容について誤っているものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 中央の巨像は、琉球を表しており、右手に唐芋、左手に泡盛を持っている。
- イ 中央の巨像の右足は中国側、左足は日本側にあり、琉球が両属関係にあることを示している。
- ウ 日本側の人たちは、中央の巨像の右足を引っ張っており、日本による一元的な支配を目指していることを伝えようとしている。
- エ 中国側は、船を使って、中央の巨像の右足を引っ張っている。

問5 明治政府が、琉球に対して行った政治的措置は「琉球処分」と呼ばれます。この一連の出来事に関して述べたア～エについて、古いものから年代順に並べなさい。

- ア 首里城を接收し、琉球の王である尚泰を上京させた。
- イ 鹿児島県に編入されていた琉球に対して藩を設置した。
- ウ 清への朝貢を禁止して、福州にある琉球館を廃止した。
- エ 琉球藩の裁判権、警察権を接收した。

問6 琉球と同じように、江戸幕府が藩に委ねて支配を行った地域がありました。その地域と藩の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

ア 蝦夷地—松前藩      イ 蝦夷地—仙台藩      ウ 樺太—松前藩      エ 樺太—仙台藩

問7 「琉球処分」の結果、琉球の帰属をめぐる清（中国）との間で紛争が生じました。これは日清戦争による清の敗北によって日本の琉球帰属が決着するまで続きました。この間、明治政府は琉球の人びとに対して同化政策（日本風の風俗に改めること）を急がずに進めました。その内容を説明しなさい。

【Ⅱ】 次の史料 1、2 を読んで、下記の問い（問 1～問 4）に答えなさい。

（史料 1）『読売新聞』明治 22 年 2 月 23 日

○徳島の二月十一日、十日の夜半より降雪ありしも翌日午前九時頃には一天晴れ渡りしを以て、市中は毎戸に日章旗を掲げ、何となく賑わしき景況を呈せり、中学校師範学校及び各高等小学校の学生は一大運動会を開きて、遙かに宝祚万歳を奉祝し、又た有志者は所々に於て祝宴を開きたるが、中に尤とも盛会なりしは旧城内に於て催せしものにて、近傍各郡より集会したるもの無慮一千余名故にさすがの広き同所も来会者と傍観者とを以て寸分の余地もなき程にてありしと。

（史料 2）『読売新聞』明治 22 年 2 月 14 日

○栗橋の二月十一日、埼玉県北葛飾郡栗橋駅の人民は去る十一日憲法発布の祝意を表せんと、各町に幟を立て、各戸に国旗及び球燈を掲げ、大縁門を設くるあり、大燈籠に憲法の二字を書するあり、花車を引き出し馬鹿囃・手踊等を為すあり、力士を傭ふて相撲を興行するあり、島中高等・栗橋尋常の両小学生徒凡そ三百五十人祝賀式を終えし後、隊伍を組みて押出し、男性は洋服にて各自に小旭旗を携へ、女生徒は何れも束髪に日の丸の簪を挿し、校長只見氏の作に係かる憲法の歌を唱へて各町を一巡し、終わりにて有志者よりは之に赤飯を饗せり、又有志者一同は栗橋小学校内に集まりて盛大なる宴会を開き、以て遙かに両陛下の万々歳を祝し奉りたり、近村より比の盛典を見んとて来集したるもの数百人にて駅内の賑やかなる事実に未曾有にてありしと云。

問 1 史料 1、2 は、明治 22 年（1889）2 月 11 日の憲法発布日における徳島県徳島、埼玉県栗橋のようすを記した新聞記事です。この日発布された憲法の名称について、漢字 7 文字で答えなさい。

問 2 明治政府の要人たちは、幕末に締結された不平等条約の改正や憲法調査等のための欧米諸国の調査を当該期に開設された航路を利用して実施しました。1871 年に実施された欧米視察もその一つです、その使節団の代表者と利用した蒸気船を運行している会社の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| ア 伊藤博文—フランス大西洋汽船会社 | イ 伊藤博文—アメリカ太平洋郵船 |
| ウ 岩倉具視—フランス大西洋汽船会社 | エ 岩倉具視—アメリカ太平洋郵船 |

問3 史料1、2の両者において共通して行われていると思う内容を3点あげなさい。

問4 史料1、2の読み取りから、次のような考察をしました。この考察内容について誤っているものを、次の選択肢ア～ウの中から一つ選びなさい。

ア 憲法発布日の集会に、徳島と栗橋の両地とも近隣地域からも大勢の人が集まったことがわかる。

イ 憲法発布の同日に、徳島と栗橋の離れた2つの地域にて同じ行為が行われている。この点をさらに追究するため、徳島の記事が掲載されている2月23日発行の読売新聞の他の掲載内容をみると、長野県上田、群馬県高崎においても同様の行為が行われていることがわかった。こうした現象からは日本の国民化が進行しているといえる。

ウ 史料1、2で記載されている行為がなされたのは、国民主権の憲法が発布されたからである。

【Ⅲ】 次の文章を読んで、下記の問い（問1～問6）に答えなさい。

平城京は、唐の都（①）にならい、碁盤の目状に東西・南北に走る道路で区画される条坊制をもつ都市でした。都は中央を南北に走る朱雀大路で東の左京と西の右京とに分けられ、北部中央には平城宮が設けられ、天皇の生活の場である（A）、政務や儀礼の場である（B）・朝堂院、各省庁がおかれしました。

(a)平城宮跡は、発掘調査がおこなわれ、宮殿・官庁・庭園などの（C）や木簡などの（D）が発見されて、古代の宮廷生活やそれを支えた財政構造などが明らかになっています。

左京・右京には官営の市が設けられ、市司がこれを監督し、市では地方から貢納された産物、官人に禄として支給された布などが交換されました。京・畿内では調を銭でおさめさせたが、一般には稲や布などを交換手段とする交易が広くおこなわれていました。

問1 空欄（①）に入る語句を、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

ア 洛陽      イ 長安      ウ 北京      エ 平城

問2 空欄（ A ）（ B ）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

ア A = 大極殿 B = 内裏

イ A = 内裏 B = 大極殿

ウ A = 大極殿 B = 神祇官

エ A = 内裏 B = 神祇官

問3 空欄（ C ）（ D ）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢ア、イの中から一つ選びなさい。

ア C = 遺構 D = 遺物

イ C = 遺物 D = 遺構

問4 下線(a)発掘調査によって、皇族である長屋王の邸宅跡から多くの木簡が出土していることが知られています。「平城京復元図」（=下図）で長屋王邸の位置（図中の丸囲み）を調べました。その位置について、下図を参照して、左京・右京のどちらで、「条」「坊」の数字を用いて答えなさい。

著作権の関係により図は非公開

問5 下記の史料＝長屋王邸跡から出土した木簡に書かれている文字を読み取った内容として誤っているものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

史料1：「山背菌司 進上 大根四束 交菜二斗 遣諸月」(木簡表)  
「和銅七年十二月四日 大人」(木簡裏)

史料2：「葛木上郡賀茂里米一石」

史料3：「大庭御菌 進上 菁菜六十束 駄二匹」

(地名注記) 山背：河内国石川郡山代郷

葛木：大和国葛上郡

大庭：河内国茨田郡

(「木簡庫」より)

ア 史料1、3には「進上」と墨書があり、長屋王に進物として納められたものであることがわかる。

イ 史料1～3をみると、大根、米、青菜など食料を進上した文書・荷札木簡であることがわかる。

ウ 史料1～3をみると、進上した地域は河内国、大和国であることがわかり、すべて現在の大阪府にある地域である。

エ 史料1には「和同七年」と墨書があり、西暦714年にあたる。長屋王が右大臣となるのは藤原不比等が死去した後の721年なので、この進物は長屋王が政治を主導する以前の木簡である。

問6 長屋王は、729年に藤原不比等の子どもたちの策謀によって自刃させられます。この政変の説明について誤っているものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

ア 不比等は、娘を長屋王に嫁がせている。

イ 長屋王は、不比等の三人の子どもたち、武智麻呂・房前・宇合によって謀反を密告され、宇合らが率いる軍勢に屋敷を囲まれ、自刃させられた。

ウ この政変後、不比等の子どもたちは、不比等と県犬養橘三千代の子である光明子を聖武天皇の皇后にし、皇位継承における発言権をもとうとした。

エ 不比等の子どもたちは737年に流行した天然痘によってあいついで病死した。

【IV】 次の文章を読んで、下記の問い（問1～問7）に答えなさい。

応仁の乱により京都が荒廃すると、京都の公家たちが地方の戦国大名を頼り、続々と地方へくだりました。地方の武士たちも中央の文化への強い憧れから、積極的にこれを迎えました。<sup>(a)</sup>とくに（①）氏の城下町・周防国山口には、文化人が多く集まり、儒学や古典の講義が行われ、書籍の出版もなされました。また、<sup>(b)</sup>京都の景観・地名や行事などを積極的に模倣して、山口を京都のようにしようとしました。戦国大名が京都文化への志向を抱いていた点は、越前国の一乗谷に城下町を建設した（②）氏も同様でした。

問1 空欄（①）（②）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ア ①＝細川 ②＝朝倉 | イ ①＝大内 ②＝朝倉 |
| ウ ①＝細川 ②＝浅井 | エ ①＝大内 ②＝浅井 |

問2 下線(a)の例として正しいものを、次の選択肢ア～エの中から二つ選びなさい。

- ア 飯尾宗祇を招いて連歌会を催し、宗祇が編集した『新撰菟玖波集』にも作品を寄せた。
- イ 五山僧の月舟寿桂は、医学と宋学の知識を求められて、城下に滞在した。
- ウ 桂庵玄樹を招いて儒学の講義を聞いた。
- エ 禅僧画家である雪舟が身をよせ、明にも渡海させて、水墨画を学ぶとともに中国絵画や調度品などを調達した。

問3 戦国大名は、家臣団統制や領国支配のために基本となる法を定めて、武士や民衆を取り締まりました。この法の名称を漢字3文字で答えなさい。

問4 問3の法の中には、家臣相互の紛争を自力の私闘で解決することを禁止し、すべての紛争を大名による裁判に委ねさせるための内容もありました。そのため当事者双方を処罰することを明文化しました。この内容を漢字5文字で答えなさい。

問5 下線(b)のように戦国大名が自身の城下町を「小京都化」したことは、のちに日本人の京都市的なものに対するあこがれともあいまって、現代社会において日本各地に「東北の小京都〜〜〜」のように地域名を冠しての小京都として観光地化する現象を生みました。小京都を冠して観光化する地域にとってのメリットとデメリットについて、①歴史の観点、②地域経済の観点、2つの観点からあなたの意見を述べてください。

問6 小京都のようにモデル地域の景観や文化の象徴的部分を移入し再構成して、その上でモデルとなる都市の名を冠した例は、関東の地域でもあります。そのモデルとなる都市を当時の名称で答えなさい。

問7 現在、そのモデルとなる都市名を冠して観光地化を推進している地域を、次の選択肢ア～オの中から二つ選びなさい。

ア 川越      イ 仙台      ウ 佐原      エ 金沢      オ 水戸